

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)

【公開番号】特開 2016-196309 (P2016-196309A)

【公開日】平成 28 年 11 月 24 日 (2016.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2016-065

【出願番号】特願 2015-76662 (P2015-76662)

【国際特許分類】

B 6 5 D 5/54 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 5/54 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 8 月 29 日 (2016.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

シート状の紙製ブランクにより形成されたカートンに用いるカートン用ジッパーであって、

第 1 切れ目線と第 2 切れ目線とを有し、

第 1 切れ目線が、複数の第 1 切込み (10、20) を間隔を介して列状に配設してなり、

第 1 切込みが、

第 1 傾斜部 (12、22) と、第 1 傾斜部の一方の端部である第 1 接触点 (m12、m22) から形成された第 2 傾斜部 (14、24) とを有し、第 1 傾斜部が、第 1 傾斜部の他方の端部である第 1 端部 (m11、m21) と第 1 接触点間に直線状に形成され、第 2 傾斜部が、第 1 接触点と第 2 傾斜部における第 1 接触点とは反対側の端部である第 2 端部 (m13、m23) 間に直線状に形成され、

第 1 端部と第 1 接触点とが、ジッパー開封方向の仮想直線で第 2 端部を通る仮想直線 (e16、e26) を介して両側に配置され、

第 2 傾斜部のジッパー開封方向において後側への仮想延長線 (f14、f24) がジッパー開封方向において後側に隣接する他の第 1 切込みの第 1 傾斜部と交わり、

第 1 傾斜部が、第 1 端部が第 1 接触点よりもジッパー開封方向において前側に位置するように仮想直線に対して傾斜して形成され、

第 2 傾斜部が、第 1 接触点が第 2 端部よりもジッパー開封方向において前側に位置するように仮想直線に対して傾斜して形成され、

第 1 傾斜部の該仮想直線との間の鋭角の角度 (11、21) が、第 2 傾斜部の該仮想直線との間の鋭角の角度 (12、22) よりも大きく形成され、

第 2 切れ目線が、第 1 切れ目線との間の中心線を介して対称形状に形成され、第 2 切れ目線が、複数の第 2 切込み (20、10) を間隔を介して列状に配設してなり、第 2 切れ目線における各第 2 切込みが該中心線を介して第 1 切れ目線における第 1 切込みと対称形状に形成されていることを特徴とするカートン用ジッパー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

シート状の紙製ブランクにより形成されたカートンに用いるカートン用ジッパーであって、

第 1 切れ目線と第 2 切れ目線とを有し、

第 1 切れ目線が、複数の第 1 切込み（10）を間隔を介して列状に配設してなり、

第 1 切込みが、

第 1 傾斜部（12）と、第 2 傾斜部（14）と、第 1 傾斜部の一方の端部である第 1 接触点（m12a）と第 2 傾斜部の一方の端部である第 2 接触点（m12b）間に形成されたアール部で、第 1 接触点で第 1 傾斜部と接するとともに第 2 接触点で第 2 傾斜部と接するアール部（13）とを有し、

第 1 傾斜部が、第 1 傾斜部の他方の端部である第 1 端部（m11）と第 1 接触点間に直線状に形成され、

第 2 傾斜部が、第 2 接触点と第 2 傾斜部における第 2 接触点とは反対側の端部である第 2 端部（m13、m23）間に直線状に形成され、

第 1 端部と第 1 接触点とが、ジッパー開封方向の仮想直線で第 2 端部を通る仮想直線（e16、e26）を介して両側に配置され、

第 2 傾斜部のジッパー開封方向において後側への仮想延長線である仮想延長線（f16）がジッパー開封方向において後側に隣接する他の第 1 切込みの第 1 傾斜部と交わり、

第 1 傾斜部が、第 1 端部が第 1 接触点よりもジッパー開封方向において前側に位置するように仮想直線に対して傾斜して形成され、

第 2 傾斜部が、第 1 接触点が第 2 端部よりもジッパー開封方向において前側に位置するように仮想直線に対して傾斜して形成され、

第 1 傾斜部の該仮想直線との間の鋭角の角度（11）が、第 2 傾斜部の該仮想直線との間の鋭角の角度（12）よりも大きく形成され、

第 2 切れ目線が、第 1 切れ目線との間の中心線を介して対称形状に形成され、第 2 切れ目線が、複数の第 2 切込みを間隔を介して列状に配設してなり、第 2 切れ目線における各第 2 切込みが該中心線を介して第 1 切れ目線における第 1 切込みと対称形状に形成されていることを特徴とするカートン用ジッパー。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明は上記問題点を解決するために創作されたものであって、第 1 には、シート状の紙製ブランクにより形成されたカートンに用いるカートン用ジッパーであって、第 1 切れ目線と第 2 切れ目線とを有し、第 1 切れ目線が、複数の第 1 切込み（10、20）を間隔を介して列状に配設してなり、第 1 切込みが、第 1 傾斜部（12、22）と、第 1 傾斜部の一方の端部である第 1 接触点（m12、m22）から形成された第 2 傾斜部（14、24）とを有し、第 1 傾斜部が、第 1 傾斜部の他方の端部である第 1 端部（m11、m21）と第 1 接触点間に直線状に形成され、第 2 傾斜部が、第 1 接触点と第 2 傾斜部における第 1 接触点とは反対側の端部である第 2 端部（m13、m23）間に直線状に形成され、第 1 端部と第 1 接触点とが、ジッパー開封方向の仮想直線で第 2 端部を通る仮想直線（e16、e26）を介して両側に配置され、第 2 傾斜部のジッパー開封方向において後側への仮想延長線（f14、f24）がジッパー開封方向において後側に隣接する他の第 1 切込みの第 1 傾斜部と交わり、第 1 傾斜部が、第 1 端部が第 1 接触点よりもジッパー開封方向において前側に位置するように仮想直線に対して傾斜して形成され、第 2 傾斜部が、第 1 接触点が第 2 端部よりもジッパー開封方向において前側に位置するように仮想直線に対して傾斜して形成され、第 1 傾斜部の該仮想直線との間の鋭角の角度（11、21）

が、第2傾斜部の該仮想直線との間の鋭角の角度(12、 22)よりも大きく形成され、第2切れ目線が、第1切れ目線との間の中心線を介して対称形状に形成され、第2切れ目線が、複数の第2切込み(20、 10)を間隔を介して列状に配設してなり、第2切れ目線における各第2切込みが該中心線を介して第1切れ目線における第1切込みと対称形状に形成されていることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、第2には、シート状の紙製ブランクにより形成されたカートンに用いるカートン用ジッパーであって、第1切れ目線と第2切れ目線とを有し、第1切れ目線が、複数の第1切込み(10)を間隔を介して列状に配設してなり、第1切込みが、第1傾斜部(12)と、第2傾斜部(14)と、第1傾斜部の一方の端部である第1接触点(m12a)と第2傾斜部の一方の端部である第2接触点(m12b)間に形成されたアール部で、第1接触点で第1傾斜部と接するとともに第2接触点で第2傾斜部と接するアール部(13)とを有し、第1傾斜部が、第1傾斜部の他方の端部である第1端部(m11)と第1接触点間に直線状に形成され、第2傾斜部が、第2接触点と第2傾斜部における第2接触点とは反対側の端部である第2端部(m13)間に直線状に形成され、第1端部と第1接触点とが、ジッパー開封方向の仮想直線で第2端部を通る仮想直線(e16)を介して両側に配置され、第2傾斜部のジッパー開封方向において後側への仮想延長線である仮想延長線(f16)がジッパー開封方向において後側に隣接する他の第1切込みの第1傾斜部と交わり、第1傾斜部が、第1端部が第1接触点よりもジッパー開封方向において前側に位置するように仮想直線に対して傾斜して形成され、第2傾斜部が、第1接触点が第2端部よりもジッパー開封方向において前側に位置するように仮想直線に対して傾斜して形成され、第1傾斜部の該仮想直線との間の鋭角の角度(11)が、第2傾斜部の該仮想直線との間の鋭角の角度(12)よりも大きく形成され、第2切れ目線が、第1切れ目線との間の中心線を介して対称形状に形成され、第2切れ目線が、複数の第2切込みを間隔を介して列状に配設してなり、第2切れ目線における各第2切込みが該中心線を介して第1切れ目線における第1切込みと対称形状に形成されていることを特徴とする。